

2006年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

2006年2月7日

上場会社名 株式会社ゼンショー

(コード番号：7550 東証第1部)

(URL <http://www.zensho.com/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 小川 賢太郎

TEL：(03)-5783-8850

責任者役職・氏名 取締役グループ管理本部長 本田 豊

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(内容)

・有形固定資産の減価償却の方法については、従来、定率法(ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く。))は定額法)によっておりましたが、当連結会計年度よりすべての有形固定資産について定額法に変更しております。

この変更は、積極的な新店投資を見込む中期経営計画(G200)策定にあたり有形固定資産の使用状況や店舗の修繕実施状況を検討した結果、店舗の各設備が機能的に一体となって長期安定的に使用され、設備投資の効果や収益への貢献度合いが長期安定的に発現すると見込まれるため、取得原価を耐用年数にわたって均等配分することにより費用と収益の対応を図り、経営実態をより的確に反映するために実施したものであります。

この結果、従来の方によった場合と比較して当第3四半期累計の減価償却費は10億86百万円減少し、売上総利益は97百万円増加し、営業利益は10億72百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は10億86百万円増加しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

連結 (新規)1社 (除外)-社 持分法 (新規)-社 (除外)1社

2. 2006年3月期第3四半期財務・業績の概況(2005年4月1日~2005年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2006年3月期第3四半期累計	108,436	(16.1)	7,820	(188.1)	7,516	(231.2)
2005年3月期第3四半期累計	93,376	(10.5)	2,714	(21.7)	2,269	(26.5)
2005年3月期	125,353		4,230		3,684	

	四半期 (当期)純利益		1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
2006年3月期第3四半期累計	1,862	(871.5)	34	53	-	-
2005年3月期第3四半期累計	191	(70.5)	14	22	-	-
2005年3月期	723		53	28	-	-

(注)1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を表示しております。

2. 2005年5月20日付で株式分割(1株につき2株の割合で分割)を実施しております。

3. 2005年11月18日付で株式分割(1株につき2株の割合で分割)を実施しております。

4. 1株当たり四半期(当期)純利益の算定にあたっては、期中平均株式数を用いております。

なお、期中平均株式数については、株式分割が期首に行われたものとして計算しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

（業績全般の概況）

当第3四半期におけるわが国経済は、原油高に伴う素材価格高騰の懸念はあるものの、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加、個人消費の持ち直しなど、景気回復に向けた緩やかな動きが継続しております。

このような状況のもと当社グループは、当連結会計年度を初年度とする中期経営計画（G200：2008年3月期に売上高2,220億円、経常利益200億円、当期純利益76億円を目標とする計画）を達成すべく業績の向上を目指し、新規出店による店舗網の拡充及びグループシナジーの追求、お客様のニーズに合わせた業態ごとの商品政策、経営効率の改善による収益力の向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計の業績は、連結売上高1,084億36百万円（前年同期比16.1%増）、連結経常利益75億16百万円（前年同期比231.2%増）、四半期純利益18億62百万円（前年同期比871.5%増）となりました。

事業部門別の業績は次の通りであります。

（牛丼関連）

牛丼関連につきましては、当第3四半期末の店舗数は、当社において積極的な事業の拡大に努め、郊外型ファミリー牛丼店「すき家」等を全国に71店舗出店し、2店舗を閉鎖した結果、658店舗となりました。また、株式会社なか卯の268店舗を加え、牛丼関連においては926店舗となりました。

「すき家」では、豪州産牛肉を使用した「新・牛丼」が、引続きご好評を頂いております。更に、お客様においしくて安全な商品を安心して召し上がっていただくため、品質管理の強化とサービス水準の向上を推進し、ブランド力の向上に努めてまいりました。

なお、株式会社なか卯につきましては、2005年8月に株式をTOB（株式公開買付け）によって追加取得し、連結子会社になりましたので、中間期より連結（損益計算書は当第3四半期より連結）の範囲に含めております。

以上の結果、牛丼関連の当第3四半期累計の売上高は、388億91百万円となりました。

（ファミリーレストラン関連）

ファミリーレストラン関連につきましては、当第3四半期末の店舗数は、株式会社ココスジャパンにおいて360店舗、株式会社ビッグボーイジャパンにおいて181店舗となりました。その結果、ファミリーレストラン関連の当第3四半期末の店舗数は541店舗となりました。

営業政策につきましては、質の高いサービスの提供と安全でおいしい「食」を通じて、お客様に豊かさや幸せを提供することに引続き取り組んでまいりました。

株式会社ココスジャパンの主力業態でありますファミリーレストラン「ココス」につきましては、季節商品を取り入れた秋冬メニューを導入するとともにオペレーションの強化を図ってまいりました。

株式会社ビッグボーイジャパンにつきましては、店舗水準の向上に努めてまいりました。

以上の結果、ファミリーレストラン関連の当第3四半期累計の売上高は、492億95百万円となりました。

（焼肉関連）

焼肉関連につきましては、株式会社ぎゅあんにおいて当第3四半期末の店舗数は52店舗となりました。

また、米国産牛肉輸入禁止措置が継続する中、品質の向上を図り、安定的な商品提供に努めてまいりました。

以上の結果、焼肉関連の当第3四半期累計の売上高は、48億72百万円となりました。

（ファストフード関連）

ファストフード関連につきましては、当第3四半期末の店舗数は、株式会社日本ウェンディーズにおいて84店舗、大和フーズ株式会社において96店舗、株式会社GMフーズにおいて76店舗となりました。その結果、当第3四半期末におけるファストフード関連の店舗数は、256店舗となりました。

また、商品の品質向上と店舗水準の向上により、ブランド構築に努めてまいりました。
以上の結果、ファストフード関連の当第3四半期累計の売上高は、147億91百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
2006年3月期第3四半期	91,326	11,784	12.9	218	51
2005年3月期第3四半期	87,733	9,727	11.1	721	48
2005年3月期	83,235	10,270	12.4	761	77

- (注) 1. 2005年5月20日付で株式分割(1株につき2株の割合で分割)を実施しております。
2. 2005年11月18日付で株式分割(1株につき2株の割合で分割)を実施しております。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

第3四半期末の財政状態につきましては、総資産913億26百万円(前連結会計年度末対比80億91百万円増)、負債708億95百万円(前連結会計年度末対比58億76百万円増)、株主資本117億84百万円(前連結会計年度末対比15億13百万円増)となりました。

[参考]

2006年3月期の連結業績予想(2005年4月1日~2006年3月31日)

(百万円未満切捨)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	151,496	9,500	2,200

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 40円80銭(注)

上記の数字は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

(注) 1株当たり予想当期純利益の算定にあたっては、2005年5月20日付、2005年11月18日付の2回の株式分割後の株式数(53,930,284株)で算出しております。

○添付資料

- 1.(要約)四半期連結貸借対照表
- 2.(要約)四半期連結損益計算書
- 3.(要約)四半期連結剰余金計算書

1.(要約)四半期連結貸借対照表

科 目	2006年3月期 第3四半期末 (2005年12月31日)		2005年3月期 第3四半期末 (2004年12月31日)		2005年3月期 期 末 (2005年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)						
流動資産						
1.現金及び預金	8,528		14,661		10,629	
2.受取手形及び売掛金	1,147		638		422	
3.たな卸資産	1,551		1,095		961	
4.繰延税金資産	457		216		461	
5.デリバティブ債権	1,676		-		-	
6.繰延ヘッジ損失	-		5,539		4,693	
7.その他	5,058		3,754		5,105	
8.貸倒引当金	17		1		0	
流動資産合計	18,402	20.1	25,903	29.5	22,272	26.8
固定資産						
1.有形固定資産						
(1)建物及び構築物	26,116		18,388		18,413	
(2)機械装置及び運搬具	1,835		1,368		1,433	
(3)土地	3,973		5,445		4,221	
(4)その他	3,111		2,719		2,721	
2.無形固定資産						
(1)連結調整勘定	6,124		5,686		4,631	
(2)その他	1,746		1,334		1,642	
3.投資その他の資産						
(1)投資有価証券	485		396		2,219	
(2)差入保証金	20,386		18,030		17,747	
(3)長期前払家賃	6,890		7,195		6,573	
(4)繰延税金資産	683		127		157	
(5)その他	1,704		1,203		1,264	
(6)貸倒引当金	133		65		63	
固定資産合計	72,924	79.9	61,830	70.5	60,963	73.2
資 産 合 計	91,326	100.0	87,733	100.0	83,235	100.0

科 目	2006年3月期 第3四半期末 (2005年12月31日)		2005年3月期 第3四半期末 (2004年12月31日)		2005年3月期 期 末 (2005年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(負債の部)						
流動負債						
1. 支払手形及び買掛金	5,039		4,428		4,019	
2. 短期借入金	2,330		6,653		6,260	
3. 一年以内返済予定の長期借入金	16,579		10,937		15,484	
4. 一年以内償還予定の社債	400		200		400	
5. 未払法人税等	2,491		542		1,512	
6. 賞与引当金	1,106		937		753	
7. 繰延ヘッジ利益	1,676		-		-	
8. デリバティブ債務	-		5,539		4,693	
9. そ の 他	6,993		5,895		5,937	
流動負債合計	36,617	40.1	35,134	40.0	39,061	46.9
固定負債						
1. 社 債	200		600		200	
2. 長期借入金	32,417		33,608		24,797	
3. 退職給付引当金	534		558		513	
4. 役員退職慰労引当金	59		97		100	
5. 繰延税金負債	-		-		27	
6. そ の 他	1,067		352		319	
固定負債合計	34,278	37.5	35,216	40.2	25,957	31.2
負債合計	70,895	77.6	70,350	80.2	65,019	78.1
(少数株主持分)						
少数株主持分	8,646	9.5	7,655	8.7	7,945	9.5
(資本の部)						
1. 資 本 金	3,021	3.3	3,021	3.4	3,021	3.6
2. 資本剰余金	2,945	3.2	2,945	3.4	2,945	3.5
3. 利益剰余金	5,774	6.3	3,762	4.3	4,294	5.2
4. その他有価証券評価差額金	67	0.1	31	0.0	42	0.1
5. 為替換算調整勘定	9	0.0	-	-	0	0.0
6. 自己株式	33	0.0	33	0.0	33	0.0
資本合計	11,784	12.9	9,727	11.1	10,270	12.4
負債、少数株主持分及び資本合計	91,326	100.0	87,733	100.0	83,235	100.0

2.(要約)四半期連結損益計算書

科 目	2006年3月期第3四半期累計 自 2005年4月1日 至 2005年12月31日		2005年3月期第3四半期累計 自 2004年4月1日 至 2004年12月31日		2005年3月期 自 2004年4月1日 至 2005年3月31日	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	108,436	100.0	93,376	100.0	125,353	100.0
売上原価	32,841	30.3	31,203	33.4	41,520	33.1
売上総利益	75,594	69.7	62,173	66.6	83,832	66.9
販売費及び一般管理費	67,774	62.5	59,458	63.7	79,602	63.5
営業利益	7,820	7.2	2,714	2.9	4,230	3.4
営業外収益	544	0.5	426	0.5	608	0.4
営業外費用	848	0.8	871	0.9	1,154	0.9
経常利益	7,516	6.9	2,269	2.4	3,684	2.9
特別利益	256	0.3	67	0.1	403	0.3
特別損失	1,961	1.8	253	0.3	589	0.4
税金等調整前四半期 (当期)純利益	5,812	5.4	2,083	2.2	3,499	2.8
法人税、住民税及び事業税	3,400	3.1	1,380	1.4	2,301	1.8
法人税等調整額	144	0.0	79	0.1	181	0.1
少数株主利益	693	0.6	432	0.5	656	0.5
四半期(当期)純利益	1,862	1.7	191	0.2	723	0.6

3.(要約)四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	2006年3月期第3四半期累計 自 2005年4月1日 至 2005年12月31日		2005年3月期第3四半期累計 自 2004年4月1日 至 2004年12月31日		2005年3月期 自 2004年4月1日 至 2005年3月31日	
	金額		金額		金額	
(資本剰余金の部)						
資本剰余金期首残高		2,945		2,945		2,945
資本剰余金期末残高		2,945		2,945		2,945
(利益剰余金の部)						
利益剰余金期首残高		4,294		3,904		3,904
利益剰余金増加高						
四半期(当期)純利益	1,862	1,862	191	191	723	723
利益剰余金減少高						
1.配当金	377		323		323	
2.役員賞与	4		9		9	
3.監査役賞与	0	382	0	333	0	333
利益剰余金期末残高		5,774		3,762		4,294